

■エジプト：ロスアトム、エジプトで原子力発電所を着工

2016年9月20日付の報道によると、ロシア国営原子力事業者ロスアトムが主導で計画を進めているエジプト初の原子力発電所の建設工事が着工した。この発電所は、エジプト北部地中海沿いのエル・ダバに位置し、ロシア型軽水炉 VVER（120万kW×4基）が採用される。建設については、2015年11月にエジプトとロシアの両政府間で合意している。初号機の完工は2022年で、2024年から送電が開始される予定になっている。このプロジェクトについて、両国政府による正式契約はまだ締結されていないが、エジプトのシャキル産業大臣は、「プロジェクトに関する交渉や技術的な問題はすべて解決済みで、法的観点から最終判断を待っている段階」で、計画自体は問題がないと強調した。